

令和3年度 第2回理事会 議事録

- [1] 理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月12日
- [2] 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者 代表理事 橋本健一
- [3] 理事総数 9名、監事総数 2名
- [4] 議案
 - (1) 評議員の推薦
 - (2) 令和2年度事業報告
 - (3) 令和2年度収支及び財産の状況

[5] 審議経過及び審議結果

令和3年6月12日、代表理事橋本健一が理事及び監事の全員に対して、理事会の目的である議案について、上記内容の提案書を発し、当該提案について令和3年6月19日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、監事の全員から異議がない旨の意思表示を得たので、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

尚、令和2年度「公益目的実施報告書」について、監事より「適正」との監査報告書を得ていることを報告した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、理事全員及び監事全員が次に記名押印する。

令和3年6月12日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 理事会

代表理事 橋本健一 (印)

理事 加藤隆 (印)

理事 寺澤忠興 (印)

理事 安藤直樹 (印)

理事 岡野美幸 (印)

理事 秋山小南 (印)

理事 奥村直生 (印)

理事 丸山忠一郎 (印)

理事 下島正幹 (印)

監事 宮山尚之 (印)

監事 中越一統 (印)

令和3年度 第2回理事会

令和3年6月12日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第 1 号議案 評議員の推薦

1. 規定

- ・定款第 11 条 4 によれば、評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することが出来ることとなっており、今回は理事会より評議員選定委員会に対し新評議員を推薦する。
- ・また定款第 12 条 2 によれば、任期は退任した評議員の任期の満了する時までとなっている。

2. 新評議員の推薦

- ・新任候補者、及び退任者は下記の通り。

氏名		出身	任期
高取 克明	新任	新宿高校副校長	令和 5 年度定時評議員会まで
岸本 敦	〃	P T A 会長	〃
内海 秀一	退任	前新宿高校副校長	—
白塚 明子	〃	元 P T A 会長	—

尚、新任候補者は就任を承諾している。

3. 評議員選定委員会の開催

- ・令和 3 年 6 月 21 日(月)に評議員選定委員会を開催し、上記新評議員候補者の審査を行う

第2号議案 令和2年度事業報告

1. 事業の現況に関する事項

1.1 臨海教室

令和元年の台風被害により倒壊した館山寮男子宿泊棟の再建が令和2年度の臨海教室開催に間に合わないこととなりました。結果的には新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一年生の臨海教室を中止することにし、その代替として館山寮への遠足が計画されましたが、それも緊急事態宣言が発出されたため中止となりました。

また、同窓生に対する寮の夏季一般開放も中止いたしました。

1.2 館山寮の再建計画の進捗状況

男子宿泊棟の解体撤去工事及び比較的被害の軽かった男子用風呂、トイレの改修工事を第一期工事として行うこととし、7月末までに完成しました。

また、受水槽の交換も同時期に完了しています。

1.3 館山寮男子宿泊棟の再建に向けた活動

第二期工事の男子宿泊棟の再建については、令和3年度の臨海教室に間に合わせるように計画し、経年により現在の法令に不適合になっている既存の建物構築物を改修することと、新型コロナウイルス感染症予防対策などの仕様も追加して、地元工務店2社を含む3社に見積もりを依頼しました。

しかしながら、館山地区の建設需要のひっ迫は高止まりしていて、何れの建設業者からも人手が足りず、工期が守れないという回答があり、令和3年度の完成は断念せざるを得ませんでした。

1.4 再建募金の状況

令和2年度の再建募金は凡そ5百万円で、累積で27百万円となりました。

2. 対処すべき今後の課題

2.1 臨海教室

令和3年度の臨海教室は、伝統ある臨海教室を何としても継続したいという意気込みで、規模を縮小するなど様々な可能性が検討されています。また新一年生には房総方面の遠足の計画もあり、館山寮付近の海岸の散策が予定されています。

しかしながら未だに先が見えない新型コロナウイルス感染症の今後の推移次第で変更もあり得ます。

同窓生に対する寮の解放は、管理運営を委託している朝陽水泳会と協議し、中止することに致しました。

2.2 館山寮再建実行委員会の組成

従来の再建委員会に朝陽同窓会から副会長2名、建築に知見のある女性1名を加えて再編成し、第二期工事として既存不適格建物構築物の改修、男子宿泊棟の再建及び女子棟の改修に取り組みます。

第3号議案 令和2年度収支及び財産の状況

1. 収支－予算実績対比

経常収益

単位：万円

項目	実績	予算	増減
賛助会員受取会費	404	398	6
寮使用料収入	0	30	-30
寄付金、雑収入	180	20	160
経常収益合計	584	448	136

- ・75 回生賛助会員は 269 名、84%
- ・寮の一般開放を行わなかったため収入無し
- ・実績の寄付金は指定正味財産からの振り替え

経常費用

項目	実績	予算	増減
減価償却費	-554	-557	3
光水熱費、燃料費	-39	-46	7
消耗品費、備品費	0	-13	13
管理人費用	-50	-50	0
委託費	-66	-226	160
保険・賃借料	-31	-54	23
助成金・負担金	-21	-12	-9
その他費用	-34	-27	-7
予備費	—	-50	50
経常費用合計	-795	-1,035	240

- ・寮の一般開放を行わなかったため委託費が減少した

当期経常増減額	-211	-587	376
----------------	-------------	-------------	------------

経常外費用

災害損失	-557	-500	-57
------	------	------	-----

- ・倒壊した男子棟の解体撤去工事費

収支差額

当期収支差額	-768	-1,087	319
---------------	-------------	---------------	------------

2. 財産－前年対比貸借対照表

流動資産

単位：万円

項目	当年度	前年度	増減
現金預金	518	713	-195

- ・受水槽の交換は手持ち資金と賛助金収入で賄った

固定資産

基本財産

項目	当年度	前年度	増減
土地(館山、水上)	5,643	5,643	0
建物、建物付属	3,658	2,681	977
機械設備、器具備品	109	143	-34
建設仮勘定	0	110	-110
合計	9,410	8,577	833

- ・第一期工事(男子風呂、トイレ改修) 1,065万円
- ・受水槽交換 432万円

特定資産

館山寮再建等引当資産	9,846	8,730	1,116
------------	-------	-------	-------

- ・第一期工事(男子風呂、トイレ改修、男子棟解体撤去)のため取り崩した、-1,622万円
- ・朝陽同窓会から再建募金を移管、2,739万円

資産合計

資産合計	19,774	18,020	1,754
------	--------	--------	-------

負債

項目	当年度	前年度	増減
前受金	374	404	-30
未払金	228	228	0
負債合計	602	632	-30

- ・76回生賛助金会員受取会費 249名(78%)

正味財産

一般正味財産	16,433	17,208	-775
指定正味財産	2,739	180	2,559
正味財産合計	19,172	17,388	1,784

負債及び正味財産合計

負債及び正味財産合計	19,774	18,020	1,754
------------	--------	--------	-------

以上

3号議案

令和2年度 会計報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

1. 財務諸表

1-1. 貸借対照表総括表

令和2年度 貸借対照表総括表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,176,300	6,974,294	△ 1,797,994
その他流動資産	0	156,184	△ 156,184
流動資産合計	5,176,300	7,130,478	△ 1,954,178
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	56,430,464	0
建物	37,670,209	28,236,212	9,433,997
建設仮勘定	0	1,100,000	△ 1,100,000
基本財産合計	94,100,673	85,766,676	8,333,997
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	98,465,903	87,298,820	11,167,083
特定資産合計	98,465,903	87,298,820	11,167,083
固定資産合計	192,566,576	173,065,496	19,501,080
資産合計	197,742,876	180,195,974	17,546,902
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	3,740,000	4,035,000	△ 295,000
未払金	2,281,361	2,281,361	0
流動負債合計	6,021,361	6,316,361	△ 295,000
負債合計	6,021,361	6,316,361	△ 295,000
III 正味財産			
1. 一般正味財産	164,329,432	172,075,087	△ 7,745,655
(うち基本財産への充当額)	(94,100,673)	(85,766,676)	(8,333,997)
(うち特定資産への充当額)	(71,073,820)	(85,494,294)	(△14,420,474)
2. 指定正味財産	27,392,083	1,804,526	25,587,557
(うち特定資産への充当額)	(27,392,083)	(1,804,526)	(25,587,557)
正味財産合計	191,721,515	173,879,613	17,841,902
負債および正味財産合計	197,742,876	180,195,974	17,546,902

1-2. 貸借対照表内訳表

令和2年度 貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,176,300	0	5,176,300
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	5,176,300	0	5,176,300
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	0	56,430,464
建物	37,670,209	0	37,670,209
建設仮勘定	0	0	0
基本財産合計	94,100,673	0	94,100,673
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	98,465,903	0	98,465,903
特定資産合計	98,465,903	0	98,465,903
固定資産合計	192,566,576	0	192,566,576
資産合計	197,742,876	0	197,742,876
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	3,740,000	0	3,740,000
未払金	2,281,361	0	2,281,361
流動負債合計	6,021,361	0	6,021,361
負債合計	6,021,361	0	6,021,361
III 正味財産			
1. 一般正味財産	168,430,119	△ 4,100,687	164,329,432
(うち基本財産への充当額)	(94,100,673)	(0)	(94,100,673)
(うち特定財産への充当額)	(71,073,820)	(0)	(71,073,820)
2. 指定正味財産	27,392,083	0	27,392,083
(うち特定財産への充当額)	(27,392,083)	(0)	(27,392,083)
正味財産合計	195,822,202	△ 4,100,687	191,721,515
負債および正味財産合計	201,843,563	△ 4,100,687	197,742,876

1-3. 財務諸表に関する注記

令和2年度 財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法
- (2) 消費税等の会計処理
税込処理によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	56,430,464	0	0	56,430,464
建物等	28,236,212	14,974,000	5,540,003	37,670,209
建設仮勘定	1,100,000	0	1,100,000	0
小計	85,766,676	14,974,000	6,640,003	94,100,673
特定資産				
館山寮再建等引当資産	87,298,820	27,392,083	16,225,000	98,465,903
小計	87,298,820	27,392,083	16,225,000	98,465,903
合計	173,065,496	42,366,083	22,865,003	192,566,576

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	56,430,464	0	(56,430,464)	
建物等	37,670,209	0	(37,670,209)	
建設仮勘定	0	0	0	
小計	94,100,673	0	(94,100,673)	
特定資産				
館山寮再建等引当資産	98,465,903	(27,392,083)	(71,073,820)	
合計	192,566,576	(27,392,083)	(165,174,493)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却費、及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却費、及び当期末残高は、次の通りである

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物等			
館山寮本体	52,202,300	52,202,300	0
館山寮本体改修	10,654,000	473,511	10,180,489
館山寮女子棟	8,500,000	5,666,660	2,833,340
館山寮付属設備	3,409,560	1,457,940	1,951,620
館山寮厨房等	24,596,600	8,533,333	16,063,267
館山寮船倉等	2,475,940	618,983	1,856,957
館山寮物置等	1,230,930	574,394	656,536
館山寮受水槽	4,320,000	192,000	4,128,000
合計	107,389,330	69,719,121	37,670,209

1-4. 正味財産増減計算書総括表

令和2年度 正味財産増減計算書総括表

自: 令和2年4月1日

至: 令和3年3月31日

(単位: 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(基本財産運用益)	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
(受取会費)	4,035,000	3,975,000	60,000
賛助会員受取会費	4,035,000	3,975,000	60,000
(事業収益)	1,804,526	7,595,100	△ 5,790,574
館山寮運営事業収益	0	7,385,100	△ 7,385,100
寄付金収益	1,804,526	210,000	1,594,526
(雑収益)	4,612	27	4,585
受取利息	112	27	85
雑収益	4,500	0	4,500
経常収益合計	5,844,138	11,570,127	△ 5,725,989
(2) 経常費用			
(事業費)	7,426,485	16,040,633	△ 8,614,148
給料手当	500,000	500,000	0
旅費交通費	54,696	37,080	17,616
通信運搬費	1,200	69,793	△ 68,593
減価償却費	5,540,003	4,915,157	624,846
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	406,646	△ 406,646
修繕費	132,000	117,000	15,000
燃料費	0	123,177	△ 123,177
光熱水料費	387,976	671,214	△ 283,238
賃借料	0	385,582	△ 385,582
保険料	306,050	429,140	△ 123,090
支払負担金	68,000	68,270	△ 270
支払助成金	139,900	399,820	△ 259,920
委託費	296,660	7,710,034	△ 7,413,374
支払手数料	0	207,720	△ 207,720
(管理費)	522,308	1,774,199	△ 1,251,891
事務委託費	360,000	0	360,000
会議費	69,531	9,420	60,111
通信運搬費	32,481	1,670,002	△ 1,637,521
消耗品費	0	698	△ 698
租税公課	5,500	31,884	△ 26,384
雑支出	54,796	62,195	△ 7,399
経常費用合計	7,948,793	17,814,832	△ 9,866,039
当期経常増減額	△ 2,104,655	△ 6,244,705	4,140,050

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
保険金収入	0	86,594,294	△ 86,594,294
経常外収益計	0	86,594,294	△ 86,594,294
(2) 経常外費用			
災害損失	5,571,000	3,863,195	1,707,805
経常外費用計	5,571,000	3,863,195	1,707,805
当期経常外増減額	△ 5,571,000	82,731,099	△ 88,302,099
当期一般正味財産増減額	△ 7,675,655	76,486,394	△ 84,162,049
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	△ 7,745,655	76,416,394	△ 84,162,049
一般正味財産期首残高	172,075,087	95,658,693	76,416,394
一般正味財産期末残高	164,329,432	172,075,087	△ 7,745,655
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	27,392,083	1,804,526	25,587,557
当期指定正味財産増減額	25,587,557	1,804,526	23,783,031
指定正味財産期首残高	1,804,526	0	1,804,526
指定正味財産期末残高	27,392,083	1,804,526	25,587,557
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	191,721,515	173,879,613	17,841,902

1-5. 正味財産増減計算書内訳表

令和2年度 正味財産増減計算書内訳表

自:令和2年4月1日

至:令和3年3月31日

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)			実施事業 (継続事業) 合計	法人会計 (共通)	合計
	継続:1 教育活動	継続:2 館山寮運営	継続:3 水上寮保管			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
(基本財産運用益)	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0
(受取会費)	0	4,035,000	0	4,035,000	0	4,035,000
賛助会員受取会費	0	4,035,000	0	4,035,000	0	4,035,000
(事業収益)	0	1,804,526	0	1,804,526	0	1,804,526
館山寮運営事業収益	0	0	0	0	0	0
寄付金収益	0	1,804,526	0	1,804,526	0	1,804,526
(雑収益)	0	4,612	0	4,612	0	4,612
受取利息	0	112	0	112	0	112
雑収益	0	4,500	0	4,500	0	4,500
経常収益合計	0	5,844,138	0	5,844,138	0	5,844,138
(2) 経常費用						
(事業費)	50,000	7,376,485	0	7,426,485	0	7,426,485
給料手当	0	500,000	0	500,000	0	500,000
旅費交通費	0	54,696	0	54,696	0	54,696
通信運搬費	0	1,200	0	1,200	0	1,200
減価償却費	0	5,540,003	0	5,540,003	0	5,540,003
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	132,000	0	132,000	0	132,000
燃料費	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	387,976	0	387,976	0	387,976
賃借料	0	0	0	0	0	0
保険料	0	306,050	0	306,050	0	306,050
支払負担金	0	68,000	0	68,000	0	68,000
支払助成金	50,000	89,900	0	139,900	0	139,900
委託費	0	296,660	0	296,660	0	296,660
支払手数料	0	0	0	0	0	0
(管理費)	0	0	0	0	522,308	522,308
事務委託費	0	0	0	0	360,000	360,000
会議費	0	0	0	0	69,531	69,531
通信運搬費	0	0	0	0	32,481	32,481
消耗品費	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	5,500	5,500
雑支出	0	0	0	0	54,796	54,796
経常費用計	50,000	7,376,485	0	7,426,485	522,308	7,948,793
当期経常増減額	△ 50,000	△ 1,532,347	0	△ 1,582,347	△ 522,308	△ 2,104,655

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)			実施事業 (継続事業) 合計	法人会計 (共通)	合計
	継続:1 教育活動	継続:2 館山寮運営	継続:3 水上寮保管			
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
保険金収入						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
災害損失	0	5,571,000	0	5,571,000	0	5,571,000
経常外費用計	0	5,571,000	0	5,571,000	0	5,571,000
当期経常外増減額	0	△ 5,571,000	0	△ 5,571,000	0	△ 5,571,000
他勘定振替額	50,000	△ 50,000	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 7,153,347	0	△ 7,153,347	△ 522,308	△ 7,675,655
法人税、住民税、事業税	0	0	0	0	70,000	70,000
一般正味財産増減額	0	△ 7,153,347	0	△ 7,153,347	△ 592,308	△ 7,745,655
一般正味財産期首残高	0	171,338,647	4,244,819	175,583,466	△ 3,508,379	172,075,087
一般正味財産期末残高	0	164,185,300	4,244,819	168,430,119	△ 4,100,687	164,329,432
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	27,392,083	0	27,392,083	0	27,392,083
当期指定正味財産増減額	0	25,587,557	0	25,587,557	0	25,587,557
指定正味財産期首残高	0	1,804,526	0	1,804,526	0	1,804,526
指定正味財産期末残高	0	27,392,083	0	27,392,083	0	27,392,083
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	0	191,577,383	4,244,819	195,822,202	△ 4,100,687	191,721,515

2 参考資料

2-1 令和2年度 損益計算書と正味財産増減計算書における経常経費の変動要素

(単位:円)

科目	令和2年度	令和元年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
(基本財産運用益)	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
(受取会費)	4,035,000	3,975,000	60,000	
賛助会員受取会費	4,035,000	3,975,000	60,000	
(事業収益)	0	7,595,100	△ 7,595,100	
館山寮運営事業収益	0	7,385,100	△ 7,385,100	臨海教室中止による
寄付金収益	0	210,000	△ 210,000	
(雑収益)	4,612	27	4,585	
受取利息	112	27	85	
雑収益	4,500	0	4,500	
経常収益合計	4,039,612	11,570,127	△ 7,530,515	
(2) 経常費用				
(事業費)	7,426,485	16,040,633	△ 8,614,148	
給料手当	500,000	500,000	0	
旅費交通費	54,696	37,080	17,616	
通信運搬費	1,200	69,793	△ 68,593	
減価償却費	5,540,003	4,915,157	624,846	館山寮再建第一期工事終了
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	0	406,646	△ 406,646	臨海教室中止による
修繕費	132,000	117,000	15,000	
燃料費	0	123,177	△ 123,177	臨海教室中止による
光熱水料費	387,976	671,214	△ 283,238	"
賃借料	0	385,582	△ 385,582	"
保険料	306,050	429,140	△ 123,090	建物一部滅失による火災保険料減
支払負担金	68,000	68,270	△ 270	
支払助成金	139,900	399,820	△ 259,920	小型船舶免許取得助成減
委託費	296,660	7,710,034	△ 7,413,374	臨海教室中止による
支払手数料	0	207,720	△ 207,720	船舶検査料減
(管理費)	522,308	1,774,199	△ 1,251,891	
事務委託費	360,000	0	360,000	朝陽同窓会へ事務委託
会議費	69,531	9,420	60,111	
通信運搬費	32,481	1,670,002	△ 1,637,521	館山寮再建募金趣意書発行費用減
消耗品費	0	698	△ 698	
租税公課	5,500	31,884	△ 26,384	
雑費	54,796	62,195	△ 7,399	
経常費用合計	7,948,793	17,814,832	△ 9,866,039	

2-2 財務諸表の附属明細書

令和2年度 財務諸表の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 - － 財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

2. 引当金の明細
 - － 該当なし。

2. 事業報告

2.1 令和2年度事業報告

1. 事業の現況に関する事項

1.1 臨海教室

館山寮男子宿泊棟の再建が臨海教室開催に間に合わないこととなり、一年生の臨海教室を中止することにし、その代替として館山寮への遠足を計画いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため緊急事態宣言が発出されたため中止しました。

また、同窓生に対する寮の夏季一般開放も中止いたしました。

1.2 館山寮の再建計画の進捗状況

男子宿泊棟の解体撤去工事及び比較的被害の軽かった男子用風呂、トイレの改修工事を第一期工事として行うこととし、7月末までに完成しました。

また、受水槽の交換も同時期に完了しています。

1.3 館山寮男子宿泊棟の再建に向けた活動

第二期工事の男子宿泊棟の再建については、令和3年度の臨海教室に間に合わせるように計画し、経年により現在の法令に不適合になっている既存の建物構築物を改修することと、新型コロナウイルス感染症予防対策などの仕様も追加して、地元工務店2社を含む3社に見積もりを依頼しました。

しかしながら、館山地区の建設需要のひっ迫は高止まりしていて、何れの建設業者からも人手が足りず、工期が守れないという回答があり、令和3年度の完成は断念せざるを得ませんでした。

1.4 再建募金の状況

令和2年度の再建募金は凡そ5百万円で、累積で27百万円となりました。

2. 対処すべき今後の課題

2.1 臨海教室

令和3年度の臨海教室は、伝統ある臨海教室を何としても継続したいという意気込みで、規模を縮小するなど様々な可能性を検討しています。また新一年生には房総方面の遠足も計画をして、館山寮付近の海岸の散策を予定しています。

しかしながら未だに先が見えない新型コロナウイルス感染症の今後の推移次第で変更もあり得ます。

同窓生に対する寮の解放は、管理運営を委託している朝陽水泳会と協議し、中止することに致しました。

2.2 館山寮再建実行委員会の組成

従来の再建委員会に朝陽同窓会から副会長2名、建築に知見のある女性1名を加えて再編成し、第二期工事として既存不適格建物構築物の改修、男子宿泊棟の再建及び女子棟の改修に取り組みます。

以上

2-2 事業報告の附属明細書

令和2年度 事業報告の附属明細書

該当なし。

3. 監査報告書

3-1 監事による監査報告書

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

代表理事 橋本 健一 殿

令和3年 5 月 28 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 中 越 一 統

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 宮山 尚之

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日迄の事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

1. 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

3-2 監事による公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会
代表理事 橋本 健一 殿

令和3年 5 月 28 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 中 越 一 統

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 宮山 尚之

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日迄の事業年度における公益目的支出計画実施報告書を監査いたしました結果、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討致しました。

1. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。